

# 突然死予防のための検査

血液検査で**脳梗塞・心筋梗塞**のリスクがわかる

## LOX-index (ロックスインデックス)

脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準とも言われ近年若年化も進んでいます。  
**特に、脳梗塞は寝たきりの原因No.1・心筋梗塞は突然死を招く最大の疾患**とも言われています。今回はこれら疾患の発症リスクを予測し、予防していくための新しいオプション検査をご紹介します。

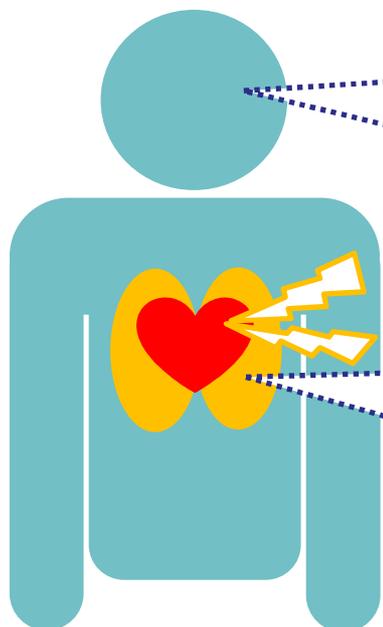
### ✓ LOX-index (ロックスインデックス)とは

**脳梗塞・心筋梗塞の発症危険度の予測**を目的とした検査です。血液中の酸化した超悪玉コレステロール“LAB”と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませるタンパク質“LOX-1”という物質を測定することで、将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度を評価します。

### このような方にお勧めです

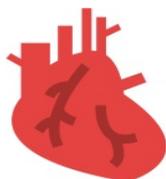
- **血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいる方**
- **血圧、LDLコレステロール、血糖値が高めで動脈硬化が気になる方**
- **40歳以上の方・喫煙している方・肥満が気になる方**

脳血管疾患・心疾患の年間の死亡者数はがんと同水準。  
**「4人に1人」**が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。



### 脳梗塞

寝たきりの原因にもなる疾患。  
**「3人に1人」**が死亡か後遺症に。



### 心筋梗塞

突然死の危険のある疾患。  
年間**「約15万人」**が発症。

## ① LOX-index (ロックスインデックス)とは？

動脈硬化に関連する血液中の超悪玉コレステロール(LAB)とその担い手であるsLOX-1という2つの物質を調べることで、動脈硬化の進行具合から将来の脳梗塞・心筋梗塞のリスクを判定する血液検査です。動脈硬化は生活習慣の改善で比較的予防できる疾患であり、早めにリスクを知ることによって予防・生活習慣の改善へ繋げて頂くことが大切です。

## ② 超悪玉コレステロール (LAB) とは？

超悪玉コレステロール(LAB)は、悪玉コレステロールであるLDLコレステロールが活性酸素等により、酸化された状態を示します。超悪玉コレステロール(LAB)は、LDLコレステロールよりも血管を傷つけやすい性質があり、動脈硬化を引き起こしている重要な原因物質であると考えられています。

## ③ LOX-1 (sLOX-1) とは？

LOX-1とは超悪玉コレステロールの担い手で、血管の内側にあるタンパクの1種です。血液中から異物を取り除く働きをしており、超悪玉コレステロール(LAB)と結合することで動脈硬化を進行させてしまいます。その内の一部が血管の壁から切り離され、血液に出てきたものをsLOX-1と呼んでいます。

## ④ どのくらいの頻度で受診すべき？

通常健康診断・人間ドックと同じく、年1回の検査をお勧めしております。

## ⑤ 脳ドックとは何が違うの？

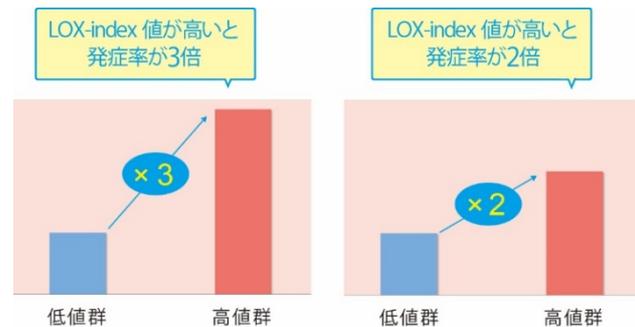
脳ドックは画像検査なので、動脈硬化が進行しないと脳梗塞を見つけられません。LOX-indexでは動脈硬化が進行する前の段階で脳梗塞のリスクを調べることができます。

## ⑥ LOX-indexが高い場合はどうすれば？

動脈硬化が進行すると、脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスクが高まります。超悪玉コレステロール(LAB)とその担い手であるsLOX-1の増加を促してしまう要因として、生活習慣(喫煙、過食、過度の飲酒等)、ストレス、運動不足等がありますので、LOX-index値が高い方は、予防対策を始めましょう。

<脳梗塞発症との関係>

<心筋梗塞発症との関係>



引用: Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

※ 当検査は、研究検査項目になるため診断目的で使用頂くことは出来ません。

※ 妊娠中は検査をお受けできません。(妊娠中、出産後3ヶ月以内の方は数値が高く出る傾向があります。)

※ 風邪、関節リウマチの方は、検査数値が高く出る可能性がございます。

※ 脂質異常症治療薬、抗血小板薬、降圧薬を服用されている方は、検査数値が低く出る可能性がございます。

検査料金 **12,500円 (税込)**

## 検査に関するお問い合わせ



一般財団法人 全日本労働福祉協会

TEL : 0120-294-373